

■「環境教育」

<p>【概要】</p>	<p>環境教育の活動には、大きくわけて、ブラウン系（廃棄物や衛生に関する活動）とグリーン系（自然関連の活動）があります。その内容は、対象者への直接的な啓発活動、プログラム開発や指導者層へのトレーニング、環境啓発キャンペーン等の企画・運営、組織作りや、現状を把握するための調査や改善のための仕組みづくり、エコツーリズム・コミュニティツーリズムへの提案など多様です。自治体や行政機関、自然公園等に配属される場合が多く、地域のニーズにあわせた活動を行なうことが求められています。</p> <p>環境教育隊員として派遣されるためには、環境に関する高度な専門知識よりは、任地での課題を明らかにし、それをわかりやすく魅力的な啓発活動につなげ、協働しながら活動を作り上げる力が求められます。</p> <p>以下は、環境教育の隊員として活動をする上で有益と考えられる能力・経験・知識・資格の例です。環境教育という一つの職種でも、派遣される国や配属先の活動内容によって求められる知識や技術は異なるため、あくまでも目安と考えてください。</p>
<p>1. 能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション力 ●ファシリテーション力 ●指導力 ●調査・課題分析力 ●実行力 ●文書作成力 ●企画・運営力 ●芸術的能力（イラスト、工作、音楽、写真、演劇等） ●調整・交渉力 ●創意工夫力 ●柔軟性 ●忍耐力 ●語学力 ●基本的なコンピュータ操作能力
<p>2. 経験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境教育分野や教育分野での活動経験 ●地域活性化関連の活動経験 ●廃棄物や水質汚染関連の活動経験 ●リーダーシップやチームワークづくりの経験 ●音楽、絵画、演劇などの表現活動経験 ●企画・運営、広報、ファンドレイジング、営業、CSRなどの活動経験 ●HP、教材、広報ツールなどの制作経験 ●各種ボランティア活動経験 ●異文化交流活動経験 など <p>※各地でさまざまな環境教育活動が行われています。ボランティアや参加者としてかかわることで、企画の作り方、運営の在り方、指導のあり方、人の巻き込み方など、さまざまなことを学べるでしょう。</p>
<p>3. 知識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境教育 ●教育 ●環境および自然 ●廃棄物 ●組織マネジメント ●人材育成 ●プランニング ●マーケティング ●地域づくり ●開発・国際協力 ●参加型手法 ●展示 など
<p>4. 活動に役立つ資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーゲームリーダー ・教員免許 ・GEMS リーダー ・プロジェクト・ワイルド一般指導者 ・eco 検定 など <p>その他、インタープリテーション、ファシリテーション、廃棄物、ビジネス関連の資格など、なんでも引き出しが多いのが良いです。</p>



市内の学校を巡回し、カウンターパート（市役所環境課職員）とともにゴミの分別方法について授業をする青年海外協力隊員（コスタリカ）
photo: 今村健志朗 / JICA



レストランオーナーにゴミの処理状況をヒアリングをする青年海外協力隊員（ベトナム）
photo: 加藤雄生 / JICA